

(案)

資料2-2

令和 年 月〇日

羽曳野市長 山入端 創 様

羽曳野市総合基本計画等審議会  
会 長 吉川 耕司

羽曳野市総合基本計画について（答申）

令和7年7月6日付け羽政政第558号で諮問のありました第7次羽曳野市総合基本計画基本構想の策定について、当審議会では慎重に審議を重ねてきた結果、別添のとおり答申いたします。

なお、下記に付した意見を踏まえ、まちの将来像となる「魅力が息づき 未来を築くまち 羽曳野 ～みんなの想いがカタチになる どんどん良くなるまち～」の実現に向け、適切に各施策を進めていただくことを要望いたします。

記

1. 人口減少が避けられない状況において、経済規模の縮小・高齢化に対応することが重要となります。多様な主体との連携や資源等の有効活用といった創意工夫を凝らし、市民一人ひとりのウェルビーイングの実現に向け、総合基本計画に掲げる各施策を着実に取り組まれることを望みます。
2. 市民協働・公民連携の推進、DXの推進、効率的な行財政運営の3つの視点を十分に留意し各施策を推進されることを望みます。
3. 基本計画の策定にあたっては、市民アンケートや市民ワーキング等で得た市民からの意見について十分に配慮されることを望みます。  
また、施策の進捗度合いを量ることのできる成果指標を設定し、継続的な進行管理を行うとともに、その結果を定期的に市民に周知し、市政の改善につなげられることを望みます。